

一般社団法人 日本脊椎脊髄病学会

2022年度第3回データベース委員会 議事録

日時:2022年04月27日(水) 19:00~19:40

場所:オンライン会議(Zoom)

出席委員(敬称略):筑田(担当理事)、金村(委員長)、石井、伊藤、上田、大鳥、細金、海渡、山田、吉井、渡邊、町野、有馬、高橋(ファスト)、種市(アドバイザー)、波呂(アドバイザー)、渡辺(アドバイザー)、松山(アドバイザー)

欠席委員(敬称略):岩崎、今釜、藤田(アドバイザー)

陪席(敬称略):渡辺(日本側彎症学会)、中川(JOA脊椎脊髄病委員会)、新村(JSSR-DB事務局)

報告事項

1. 理事会報告(筑田理事)

委員の先生方の多くのご協力によりこの2年間で今後の日本の脊椎外科医の礎となるようなデータベースを構築できたことを理事会で報告した。

2. 前回議事録の確認

資料 1

疑義がないことを確認。

3. JSSR-DB 2021&2022 進捗・ロードマップ

資料 2

- 浜松医大のJSSRデータベース事務局でデータクレンジング・解析を行うためのクラウド環境が構築完了
- 2022年5月 JSSR-DBビュー(クラウド解析)が完成予定。
- JSSR-DB 2022改修点
 - 脊椎ポータルの入口の変更(主調査票)(JSSR-DB / JSIS-DB連携)
 - 頸椎人工椎間板登録の追加、インプラント登録(バーコードorカタログ)の追加
 - 脊椎内視鏡手術術式小分類の追加
 - 合併症対応 再手術の有/無 ボタンの追加
 - 術式追加項目の名称変更:「加算」を削除
 - 頸椎人工椎間板関連の合併症項目の追加
 - JSIS-DBとの連携開始
 - JSSR-DB 2022 JOANR/JSSR-DB追加術式
→今後JOAの理事会で承認後、追加予定

- 同一手術で多部位で同じ術式を施行した場合の対応(2022年6月以降に対応予定)
- 従たる術式のJSSR-DBへの展開 (2022年後半～2023年4月)

審議・検討事項

➤ 頰椎人工椎間板登録のモニタリングに関して

2022年からは頰椎人工椎間板は新技術のプラットフォームではなく、JOANR/JSSR-DBに登録される。それに伴い頰椎人工椎間板の登録症例を抽出できるのは、現在JOANRの管理画面の権限を持っている金村委員長、データベース事務局（有馬委員、新村さん）のみである。モニタリングの運用方法に関して、JSSRデータベース事務局で頰椎人工椎間板対象症例をダウンロードし、頰椎人工椎間板事務局に送るなどの連携方法を個別に検討していく。（金村委員長）

JOANRには専任の事務員が2人いる。JSSR-DBも大きくなり、このデータベースを管理する専用の人員が必要。また新技術の各事務局（ACR/頰椎人工椎間板/OLIF51）とデータベース連携・運用方法に関して検討が必要である（種市アドバイザー）

次回開催日

2022年度 第4回

5月下旬予定